



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名
 コード番号 9900 URL http://www.sagami.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 長屋 昇 (TEL) 052(771)2126
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,737	—	472	—	520	—	436	—
25年3月期第3四半期	14,064	△3.0	298	—	308	—	183	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 511百万円(—%) 25年3月期第3四半期 191百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	17.49	—
25年3月期第3四半期	7.55	—

(注) 当社は、平成25年3月期より決算日を1月20日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、平成26年3月期第3四半期(平成25年4月1日から平成25年12月31日)と、比較対象となる平成25年3月期第3四半期(平成24年1月21日から平成24年10月20日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,422	10,788	61.8
25年3月期	15,237	10,405	68.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,773百万円 25年3月期 10,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	—	635	—	650	—	465	—	18.62

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成25年3月期は決算期変更により14ヶ月11日間の決算となっておりますので、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	24,972,784	25年3月期	24,972,784
26年3月期3Q	6,488	25年3月期	1,920
26年3月期3Q	24,968,888	25年3月期3Q	24,380,805

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日)におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策等の効果により円安、株高が進行し景況感に改善の兆しが見られたものの、一方で原材料費や電気料金の値上がり、更には消費増税を控えており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業につきましても、景気回復と連動する形で緩やかに外食支出は回復してきておりますが、中食需要の高まりなど小売業を巻き込んでの食市場の争奪戦となっております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、期首より①「経営基盤の強化」、②「科学的経営の推進」、③「研修制度の拡充」を柱に取組んでまいりました。

当社の主力業態であり、「サガミ」の店名で親しまれております和食麺類部門では、全店販売促進企画として「大感謝祭」を2回、「料理フェア」を6回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県で「こだわり テレビCM」を6パターン放映いたしました。客単価こそ対前年同一期間(4月1日から12月31日)で2.4%減となりましたが、前述の取組みなどにより既存店の客数は、対前年同一期間(4月1日から12月31日)で5.8%増となり、既存店売上高は、対前年同一期間(4月1日から12月31日)で3.4%増となりました。

店舗関係では、当第3四半期末での『和食麺類部門』の店舗数は127店舗で増減はありません。

セルフサービス方式のどんどん庵部門では、「どんどん祭り」を2回実施したほか、「料理フェア」を7回実施いたしました。

店舗関係では、4月に長喜町店、11月に葵町店を閉鎖し、7月には星見ヶ丘店をあいそ家Kitchen大山田店としてリニューアルオープンいたしました。

当第3四半期末での『どんどん庵部門』の店舗数は、44店舗であります。

その他の部門では、大型セルフうどんの「製麺大学」において、「大学祭」を2回、「料理フェア」を6回実施し、団欒食堂「あいそ家」において、「お客様大感謝祭」を2回実施いたしました。店舗関係では、フランチャイジーの「かつや」2店舗の営業権を売却し、12月にはごはん処「平子橋食堂」を閉鎖いたしました。また、4月にショッピングセンターのバロー大津店、9月にはイオンタウン名西店に「サガミ村」を出店いたしました。

当第3四半期末での『その他部門』の店舗数は、33店舗であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,737百万円、営業利益は472百万円、経常利益は520百万円、四半期純利益は436百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、17,422百万円と前連結会計年度末に比べ2,185百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ2,041百万円増加し6,025百万円、固定資産は144百万円増加し11,396百万円、流動負債は前連結会計年度末に比べ798百万円増加し3,932百万円、固定負債は1,003百万円増加し2,701百万円、純資産は383百万円増加し、10,788百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に発表した連結業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,108,107	5,097,328
受取手形及び売掛金	104,552	118,449
有価証券	292,880	165,264
商品及び製品	58,189	73,127
原材料及び貯蔵品	194,078	277,475
その他	227,117	294,289
流動資産合計	3,984,925	6,025,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,729,578	1,761,640
機械装置及び運搬具(純額)	169,014	165,315
土地	6,159,243	6,170,178
その他(純額)	113,806	239,989
有形固定資産合計	8,171,642	8,337,124
無形固定資産		
投資その他の資産	132,542	134,211
投資有価証券	1,119,457	1,208,994
差入保証金	1,444,021	1,401,946
その他	396,361	322,682
貸倒引当金	△11,925	△8,450
投資その他の資産合計	2,947,915	2,925,172
固定資産合計	11,252,100	11,396,508
資産合計	15,237,026	17,422,443
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586,394	593,246
短期借入金	480,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	1,028,897	711,024
未払金	655,463	1,080,374
未払法人税等	28,356	105,719
賞与引当金	82,045	8,446
店舗閉鎖損失引当金	2,603	—
その他	270,207	373,473
流動負債合計	3,133,968	3,932,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
長期借入金	1,149,068	2,036,790
長期未払金	110,470	83,870
退職給付引当金	5,945	6,348
資産除去債務	312,610	319,802
その他	119,726	254,802
固定負債合計	1,697,820	2,701,613
負債合計	4,831,788	6,633,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	3,405,791	3,405,791
利益剰余金	626,735	938,688
自己株式	△1,585	△5,449
株主資本合計	10,334,462	10,642,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,961	94,471
為替換算調整勘定	△5,999	36,844
その他の包括利益累計額合計	57,962	131,316
少数株主持分	12,812	14,677
純資産合計	10,405,237	10,788,545
負債純資産合計	15,237,026	17,422,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,064,681	14,737,690
売上原価	4,292,148	4,490,245
売上総利益	9,772,532	10,247,444
販売費及び一般管理費	9,473,585	9,775,428
営業利益	298,947	472,016
営業外収益		
受取利息	6,933	5,587
受取配当金	14,047	19,841
為替差益	—	27,536
受取保険金	13,508	6,706
雑収入	18,834	20,750
営業外収益合計	53,323	80,423
営業外費用		
支払利息	32,730	22,704
雑損失	11,359	8,870
営業外費用合計	44,089	31,574
経常利益	308,181	520,864
特別利益		
保険解約益	—	22,439
資産除去債務戻入益	—	11,499
有価証券償還益	—	33,360
営業権譲渡益	—	47,738
固定資産売却益	8,454	7,258
その他	1,498	—
特別利益合計	9,953	122,295
特別損失		
役員弔慰金	—	47,000
長期借入金解約損	—	15,769
固定資産売却損	1,215	9,762
固定資産除却損	24,424	15,791
減損損失	17,063	20,864
投資有価証券評価損	31,841	—
保険解約損	5,242	—
その他	6,997	5,697
特別損失合計	86,785	114,884
税金等調整前四半期純利益	231,349	528,275
法人税、住民税及び事業税	58,134	91,811
法人税等調整額	△9,308	688
法人税等合計	48,826	92,500
少数株主損益調整前四半期純利益	182,523	435,775
少数株主損失(△)	△1,468	△1,031
四半期純利益	183,991	436,806

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182,523	435,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,435	30,510
為替換算調整勘定	484	44,740
その他の包括利益合計	8,919	75,251
四半期包括利益	191,442	511,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,177	510,160
少数株主に係る四半期包括利益	△3,734	865

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社化)

1. 企業結合の概要

当社グループは、平成25年12月4日の取締役会において味の民芸フードサービス株式会社（以下「味の民芸」）の株式を取得し子会社化することを決議し、平成25年12月5日、6日付で株式譲渡契約を締結いたしました。また、当契約に基づき平成26年1月7日に同社の株式を取得いたしました。

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

- ① 被取得企業の名称 味の民芸フードサービス株式会社
 ② 事業内容 手延べうどん「味の民芸」、その他飲食専門店のチェーン経営

(2) 企業結合を行った理由

当社グループは、創業以来「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「食と職の楽しさを創造する企業」をモットーに「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現に向け、中部圏を中心にうどん・そばを提供する「和食処サガミ」等を展開しております。一方で味の民芸は、お客様の視点をテーマに「みんなのゆたかさと笑顔のために」をモットーに、関東圏を中心にうどん・そばを提供する「味の民芸」「水山」等を展開しております。

この株式の取得により、お互いの不足していた商圈を確保し、更には両社が長年にわたって蓄積してきた外食事業に関する経験及びノウハウを結集・融合することで、店舗営業、物流機能、購買機能、製造機能、店舗開発機能等の相乗効果が期待でき、高い競争力が実現できると考えております。

- (3) 企業結合日 平成26年1月7日
 (4) 企業結合の法的形式 株式取得
 (5) 結合後企業の名称 変更はありません
 (6) 取得した議決権比率 85.08%
 (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として味の民芸の株式を取得したためであります。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	1,021百万円
アドバイザー費用	5百万円
取得原価	1,026百万円

3. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその内訳
現時点では確定しておりません。4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
現時点では確定しておりません。

5. 支払資金の調達方法

支払資金は、自己資金及び借入金により充当しております。

6. 子会社株式の追加取得

平成26年1月31日に味の民芸の株式の取得に関して株式譲渡契約を締結しております。

- (1) 株式取得の時期 平成26年2月19日
 (2) 取得する議決権比率 7.60%
 (3) 取得の対価 91百万円